NO.6

あやめ通信

大人版
9月号

新刊案内
7/28～8/25

小説

永井紗那子『木挽町のあだ討ち』	米澤穂信『可燃物』
冲方丁『骨灰』	小野不由美『営繕かるかや怪異端　その参』
西加奈子『くもをさがす』	藤岡陽子『リラの花咲くけものみち』
畠中恵『いつまで』	集英社文庫編集部『北のおくりもの』
ジョン・コナリー『失われたものたちの本』	窪美澄『夜空に浮かぶ欠けた月たち』
聖岳郎『声なき追跡者』	更伊俊介『たった今考えたプロポーズの言葉を君に捧ぐよ。』

実用書

三宅未穂子『絵本はマネジメントの教科書』	杉本竜『これから学芸員をめざす人のために』
範國有紀『北海道菜園レシピ』	関正樹『子どもたちはインターネットやゲームの世界で何をしているんだろう？』
杉本昌隆『師匠はつらいよ　藤井聡太のいる日常』	
高野秀行『イラク水滸伝』	春川賢太郎『エクストリーム大家』
佐久間寛之『ゲーム障害再考』	兵庫県手延素麺協同組合『揖保乃糸　毎日食べたいそうめんレシピ』

↑先月の新刊の一部を紹介します。 ↓今月のおすすめの1冊を紹介します。

今月の1冊

春川賢太郎

『エクストリーム大家』

オススメ！

extreme：極端な、過激な…そんな意味の単語ですが、エクストリームな大家とはいったいどういうことなのでしょうか？『本書におけるその意味はズバリ、カード破産者や元ヤクザ関係者、前科者に元受刑者、そして生活保護受給者……といった人たちを専門とする大家業のことだ。』（春川賢太郎『エクストリーム大家』p8より抜粋）大家がエクストリームな人なのではなく、入居者がエクストリームな状況に立っている大家業だったのですね。確かに上記のような状況の方々は住む場所に困ると聞きますが、そのような方々から家賃収入を得ることはできるのでしょうか？

本書では、著者がエクストリーム大家業を始めたきっかけから、エクストリーム大家業のシステムやノウハウが紹介されているほか、クセが強い入居者たちのエピソードもところどころに紹介されています。ビジネス書としてもノンフィクション小説としてもお楽しみいただけるのではないでしょうか？

写真は教育委員会撮影　　イラストは「いらすとや」様より　　書影は「版元ドットコム」様より

学文ニュース　北海道青少年のための200冊！

「北海道青少年のための200冊」は、北海道に住む子どもたちに読んでほしい200冊の本を、(公財)北海道青少年育成協会が中心となってまとめたリストです。

長万部町図書館では、このリストをもとに児童書の集中購入と特設コーナーの設置を行いました。特設コーナーでは、リストアップされた本の展示とともに、「北海道青少年のためのための200冊」のリストを配布しております。

選定された本は読み手の学年ごとに分けられておりますので、お子様やお孫様の本選びの参考にご活用ください。

↑先月学文であったできごとなどを紹介します。　↓今月の学文の予定を紹介します。

9月のカレンダー

定休日:毎週月曜日

開館時間:10:00～18:00

ミュージカル OG

9/10(日)

歌手を夢見て上京した二人の女性。歌手人生の最後に起きる「ミラクル」とは？

”TIME”

9/24(日)

サクソフォンとピアノのコンサート。ピアノ奏者の長内さんは、今年で3回目の長万部公演です。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
	休館日					

写真は教育委員会撮影　　イラストは「いらすとや」様より　　書影は「版元ドットコム」様より